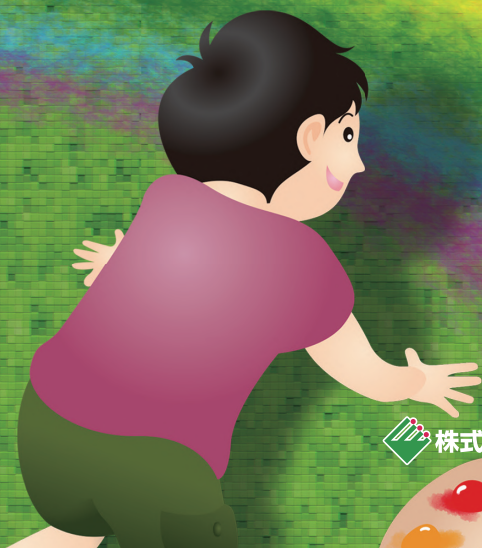
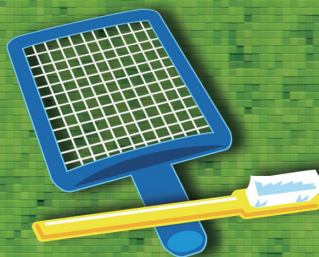


ピクチャキッズ

児童向けペイント&発表ソフトウェア

ソフトウェアマニュアル



株式会社市川ソフトウェアラボ



3

ピクチャーキッズを起動しよう

ピクチャーキッズの起動

システムアイコンをダブルクリックします。



ピクチャーキッズが起動します。



第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

4

初期画面の名称を覚えよう

ピクチャーキッズを起動した際の画面について説明します。

メニュー画面



ピクチャーキッズ ソフトウェアマニュアル

1 お絵かき	自由に絵を描くことができます。
2 発表	発表スライドを作ることができます。
3 係・グループ	目的に応じたテンプレートを選んで作品を作ることができます。
4 自己紹介	
5 めあて・目標	
6 カレンダー	
7 絵日記	
8 観察日記	
9 さいころ	
10 町探検	
11 新聞	
12 文字切替	文字表記を【ひらがな】か【漢字】に切り替えることができます。

ひらがなメニュー



漢字メニュー



一部の文字は、どちらを選んでも、ひらがなと漢字が両方表示されます。

【メニューバー】-【コントロール】-【表示設定】からも同様に変更できます。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

5

編集画面の名称を覚えよう

操作をする上で必要なボタンの名称や作業領域の名前を説明します。
【お絵かき】【発表】【目的別】毎に画面が異なっている箇所があります。

お絵かき画面



ピクチャーキッズ ソフトウェアマニュアル

1	メニューバー	機能メニューを集めたバー状の領域。クリックすると細目が表示されます。
2	絵を選ぶ	背景素材を選択することができます。
3	写真を選ぶ	背景にファイルから開いた写真を配置することができます。
4	お絵かき	色鉛筆や絵の具などで描画を行うことができます。
5	スタンプ	スタンプ素材を画用紙に押すことができます。
6	はんこ	素材に絵の具を付けてスタンプにすることができます。
7	コロコロスタンプ	4つのイラストが連続するローラースタンプを押すことができます。
8	スクラッチ	背景イラストに色を被せ、色を削り取って絵を描くスクラッチ画を作ることができます。
9	スパッタリング	歯ブラシに絵の具を付け、金網に擦って絵の具を飛ばす霧吹き絵を作ることができます。
10	文字	キーボード・ソフトキーボードで文字を入力することができます。
11	消しゴム	描いたものを一部または全て消すことができます。
12	画用紙	絵を描くことや、スタンプを押すことができる領域です。
13	メニューへ戻る	メニュー画面に戻ります。
14	画面を大きく /アイコンを大きく	アイコンなどを隠し、画用紙の部分を大きくすることができます。 /コントロールをすべて表示し、画材などを見やすくすることができます。
15	新しく作る	新しい画用紙にします。
16	ファイルを開く	保存されたファイルを開くことができます。
17	保存	画用紙のファイルを保存することができます。
18	印刷広場	画用紙に描いた作品を印刷することができます。
19	写真を撮る	パソコンやタブレットのカメラ機能で写真を撮影し、画用紙に取り込むことができます。
20	終わる	ピクチャーキッズを終了します。
21	戻る	操作履歴を1つ前に戻します。(最大30履歴まで)
22	向きを変える	画用紙の向きを変えることができます。
23	進む	操作履歴を1つ先に進めます。
24	筆箱	描画の画材や色等を選ぶことができます。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

発表（詳しくはP75～【発表を作ろう】で説明します。）

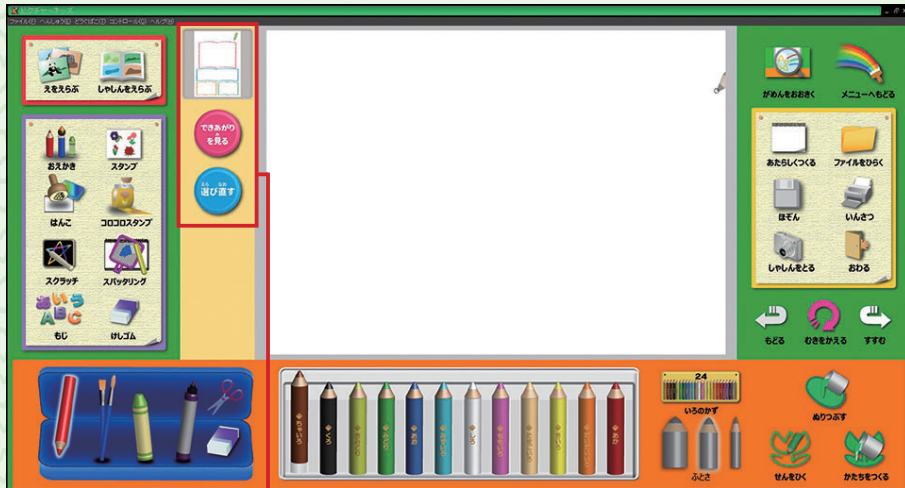


1 発表	発表用画面に移動します。
2 発表リスト	発表の為の順番や編集したいスライド(画用紙)を選ぶことができます。
3 追加	空のスライドを追加することができます。
4 コピー	他のスライドを複製することができます。
5 消す	スライドを削除することができます。

ピクチャーキッズ ソフトウェアマニュアル

目的別

(詳しくはP63～【教材として活用しよう】で説明します。)



1 プレビュー	選んだテンプレートでどのような出来上がりになるか確認することができます。
2 できあがりを見る	より大きな画面で出来上がりを確認することができます。
3 選び直す	テンプレートを選び直すことができます。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

6

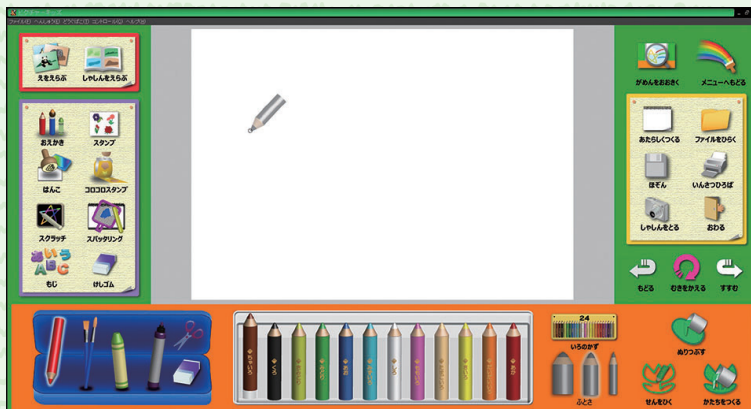
新しい画用紙を作ろう

お絵かきをする白い画用紙（新規ファイル）の作り方を説明します。

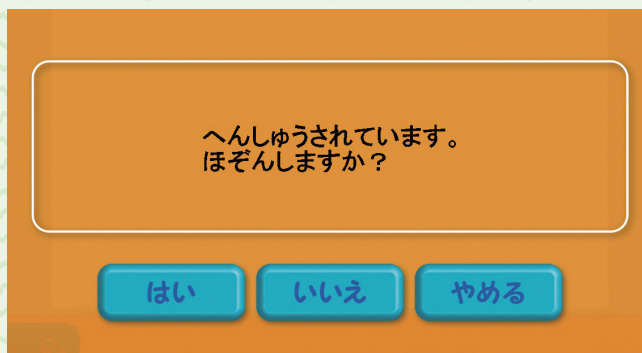
【新しく作る】を選択します。



新しい画用紙が表示されます。



※画用紙の画像が保存されていない場合、次のウィンドウが表示されるので設定します。



7

作品や写真を開こう

前回の授業で作成した作品、または画像ファイルを開く方法を説明します。

【ファイルを開く】を選択します。



【ファイルを開く】画面が表示されます。

【画像の選択】画面で任意のファイルを選択します。

フォルダ内から読みこめるファイルが一覧で表示されます。
ファイルの場所を変更したいときは、【場所を変える】を押してください。



第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

ファイルを選択するとチェックマークが付きます。
そのファイルで良い場合は、【決定】ボタンを押してください。



【表示を変える】について

従来のWindowsのダイアログが表示されます。
この画面でのみ【PNG】や【BMP】等も選択することができます。

8

カメラ機能で写真を撮ろう

パソコンやタブレットに搭載されているカメラ機能を活用して写真を撮影します。
撮影した写真を活用して作品を作ることができます。

【写真を撮る】を選択します。



【カメラ】画面が表示されます。



※ パソコンやタブレットにカメラ機能が付いていない場合は、【写真をとる】ボタンを選択することができません。
パソコンやタブレットの内蔵カメラやパソコンに接続して画像を取り込むことができるカメラを有する場合に使用することができます。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

カメラを被写体に合わせて【シャッター】を押すと撮影され、画用紙に写真が取り込まれます。



カメラが2つ以上ある場合は切り替えることができます。

【カメラをきりかえ】
インカメラ/ アウトカメラを切り替えるボタンです。
カメラがどちらか一方にしか付いていない場合は、
選択することができません。



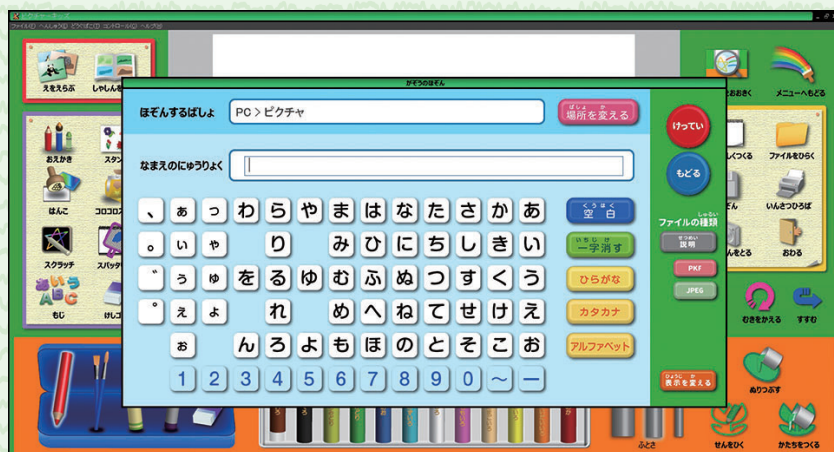
9

作品を保存しよう

完成した作品、または作成途中の作品を保存する方法を説明します。

【保存】を選択します。

【画像の保存】画面が表示されます。



保存方法について

①作品が完成して画像として保存する方法

完成した作品を保存する場合は、[ファイルの種類] を【 JPEG 】に設定して保存します。
これで作品を画像ファイルとして保存することができます。
※初期設定は【 JPEG 】に設定されているので、そのまま【保存】を選択することで保存が実行されます。

②作品が作成中で引き続き作する方法

作成中の作品を次の授業へ持ち越す場合は、[ファイルの種類] を【 PKF 】に設定して保存します。
このファイル形式は、作成途中の作品を再加工することができます。

ファイルの種類について → P26～「保存形式の種類」をご確認ください。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

10 印刷をしよう

完成した作品を印刷する方法を説明します。
印刷した作品は児童に配布、または教室に掲示することができます。

【いんさつ】を選択します。

※【お絵かき】の場合は【印刷広場】という名称になっています。

この時点では作品の保存は行っていないので、必要に応じて【保存】の作業を行ってください。



【プリンター名】と【印刷設定】の設定を行い【印刷開始】を選択します。



※【印刷設定】によるプリンターのプロパティ等の設定は、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

この画面では、テンプレートを変更することもできます。
印刷画面からお絵かきに戻りたい場合は、【お絵かきに戻る】を押してください。

メニュー画面から【お絵かき】→【印刷広場】を選択した場合は、
以下の項目から目的に合った印刷を選択します。



第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

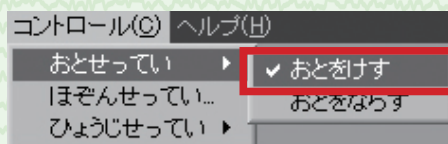
11

効果音を設定しよう

スタンプやコロコロスタンプ、はんこ、文字、スパッタリングを押したときの音を設定できます。

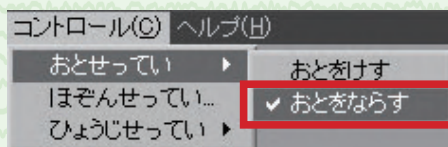
音を消す方法

【メニューバー】-【コントロール】-【音設定】から【音を消す】を選択します。



音を鳴らす方法

【メニューバー】-【コントロール】-【音設定】から【音を鳴らす】を選択します。

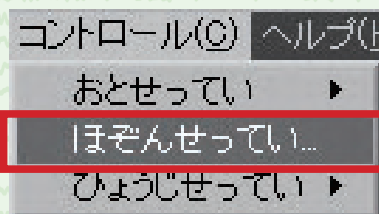


12

保存設定をしよう

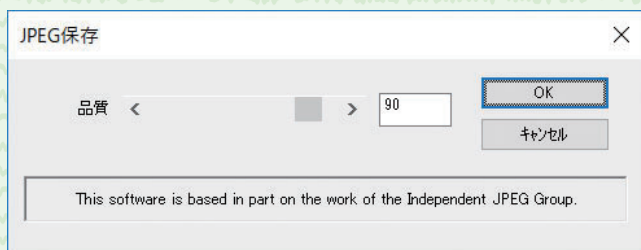
JPEGで保存する際の品質設定を変更します。

【メニューバー】-【コントロール】から【保存設定】を選択します。



【JPEG 保存】ウィンドウが表示されます。

スライダーをドラッグすることで、
JPEGで保存する際の品質を調整することができます。



品質係数について

品質係数は数値が高いほど画像をきれいに保存することができますが、ファイル容量は大きくなります。
逆に、品質係数が低いほどファイル容量は小さくなりますが、画像の品質が下がってしまいます。
学校で利用する場合は90 に設定いただければ問題ありません。

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

13

保存形式の種類

ピクチャーキッズでは保存形式を5種類から選択することができます。

【画像の保存】
ウィンドウにあるファイルの種類を
選択します。



保存形式について

ファイル形式	拡張子	説明
ピクチャーキッズ 独自フォーマット	*.PKF	ピクチャーキッズ独自形式で、作品の再加工を行うことができます。
JPEG	*.JPG	【Joint Photographic Experts Groupe】 デジタルカメラの記録方式としてよく利用されており、自然色の多い写真などに適しております。 データを圧縮してファイルのサイズを小さくできますが、保存を繰り返すことで画質は劣化します。
※PNG	*.PNG	【Portable Network Graphics】 インターネット上で広く使われることを目的として開発された画像形式で、GIF形式よりも扱える色数が多くなっています。 ファイルを圧縮して保存しますが、自然色の多い写真などはJPEG形式の方がファイルのサイズは小さくなります。基本的に画質は劣化しません。
※BMP	*.BMP	【Bit Map】 保存する際にデータを圧縮しないのでファイルのサイズは大きくなりますが、保存を繰り返しても画質は劣化しません。
※GIF	*.GIF	【Graphic Interchange Format】 256色までの画像を保存することができ、JPEGが苦手なイラストやアイコンなどに適していますが、写真のような多くの色が使用されている画像には適していません。

※この拡張子は保存画面で【表示を変える】を押した後のウィンドウでしか選ぶことができません。

14

画用紙の拡大・縮小操作

ピクチャーキッズでは画用紙上でマルチタッチ操作を行うことができます。

出来る操作

タッチ操作

マウス操作

ピンチイン

画用紙の縮小



ピンチアウト

画用紙の拡大



2本指でタッチ

拡大後の画用紙の移動



※クリックした状態でドラッグ

第1章「ピクチャーキッズを使ってみよう」

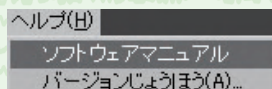
15

ヘルプ

PDFのマニュアルを開いたり、バージョン情報を確認することができます。

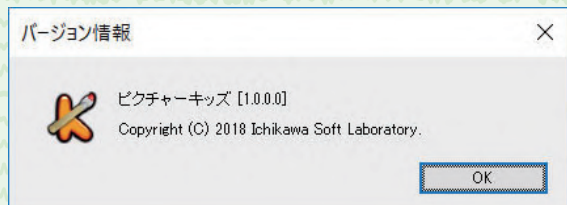
ソフトウェアマニュアル

【メニューバー】-【ヘルプ】から【ソフトウェアマニュアル】を選択します。



バージョン情報

【メニューバー】-【ヘルプ】から【バージョン情報】を選択します。



ソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。

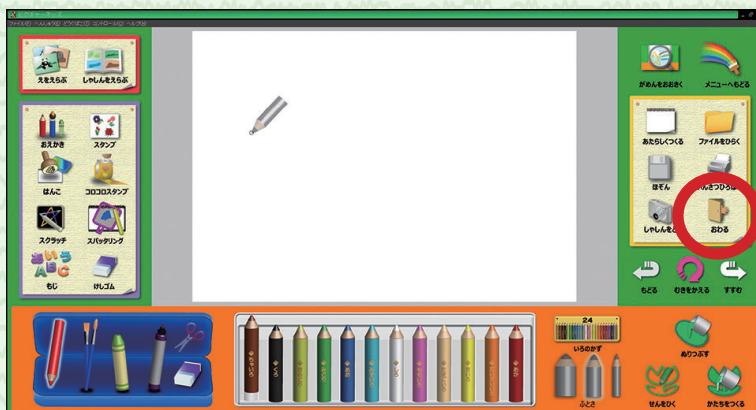
16

ピクチャーキッズを終了しよう

ピクチャーキッズの終了

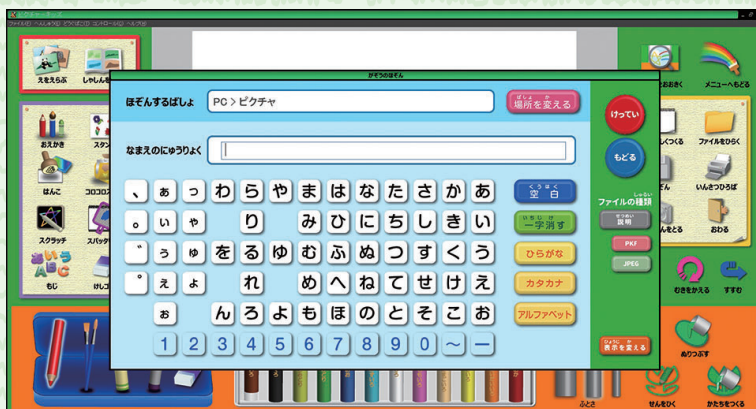
【終わる】ボタンをクリックします。

※メニューバーの【ファイル】から【終わる】を選択しても同じ動作になります。



ピクチャーキッズが終了します。

※作成中のファイルを保存していない場合は、【おわります。ほぞんしますか？】というメッセージが表示されます。【はい】を選択すると【画像の保存】ウィンドウが表示されるので、保存の操作を行ってください。【いいえ】を選択すると、作品を保存せず終了します。



第2章「画材を使いこなそう」

1

色鉛筆で描いてみよう

実際にピクチャーキッズを使って作品を作ってみましょう。

- 学年などに合わせて[色鉛筆12色]と[色鉛筆24色]を選択することができます。
- 本物の色鉛筆と同じ質感で絵を表現することができます。
- 3種類の太さから選択して線を描くことができます。

【色鉛筆】を選択します。

【筆箱】から【色鉛筆】を選択します。

クリック



クリック

色を選択します。

使いたい色の色鉛筆を選択します。



色数について

ピクチャーキッズでは【色鉛筆12色】と【色鉛筆24色】の2種類を搭載しています。

12色



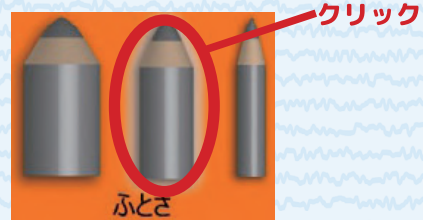
24色



ピクチャーキッズ ソフトウェアマニュアル

色鉛筆の太さを選択します。

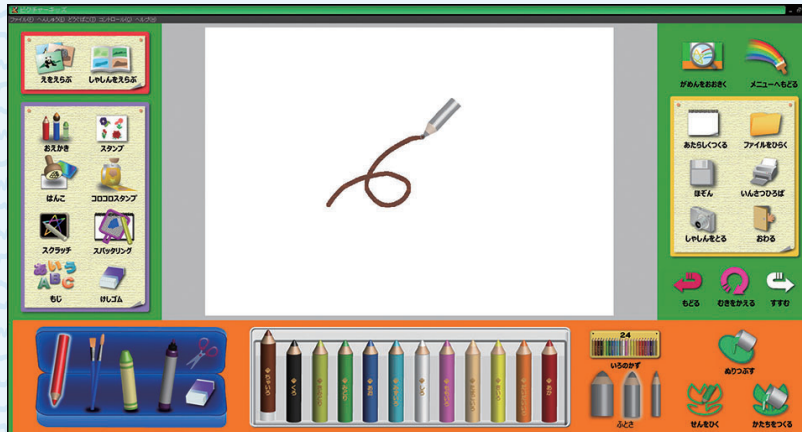
【太さ】から任意の太さを選択します。



初期設定では【中】の太さになっています。

線を描きます。

タッチパネル上に指又は専用のペンで描きます。
又は、画用紙にマウスポインタを合わせ、ドラッグします。



第2章「画材を使いこなそう」

2

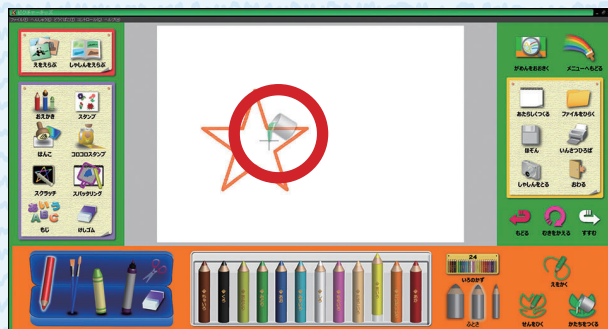
決まった形で描いてみよう

【色鉛筆】【クレヨン】【マジック】では【ぬりつぶす】【線を引く】【形を作る】を選択することができます。どのペン先でも操作は共通となります。

【ぬりつぶす】を選択します。



ぬりつぶすを選択すると、画用紙上のアイコンが○のようになります。



塗りつぶしたい場所をクリックします。



絵の輪郭に沿って塗りつぶすことができます。
塗りつぶしをやめたいときは【えをかく】を選択してください。

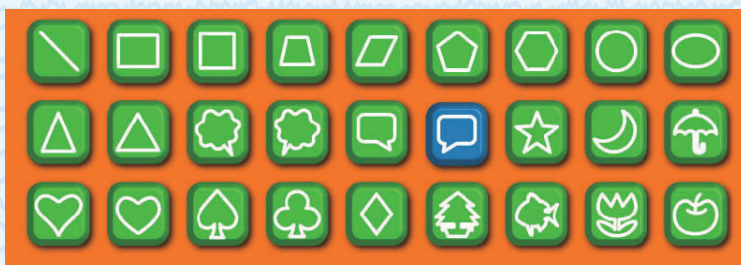


線を引きます。

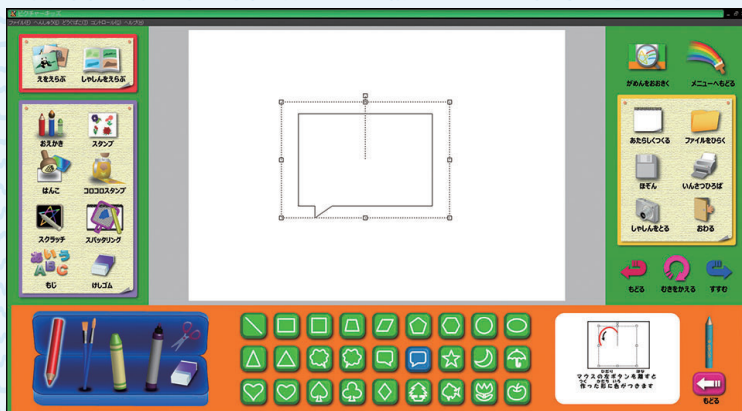
【せんをひく】を選択します。



任意の形を選びます。

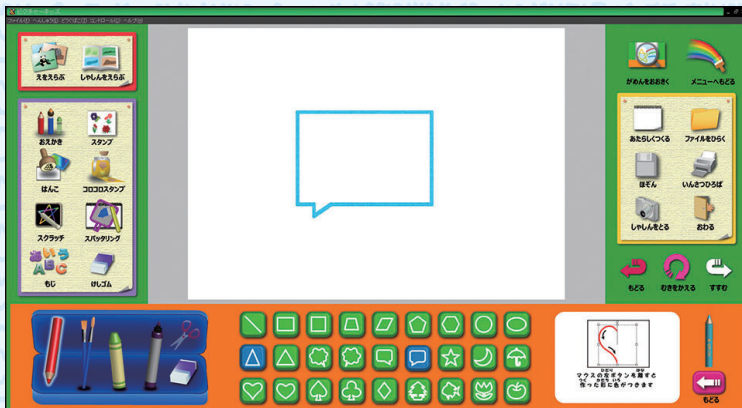


左上を基点に、画用紙上をドラッグしながら大きさを決めます。



第2章「画材を使いこなそう」

ボタンを離すと、その形に線を引くことができます。

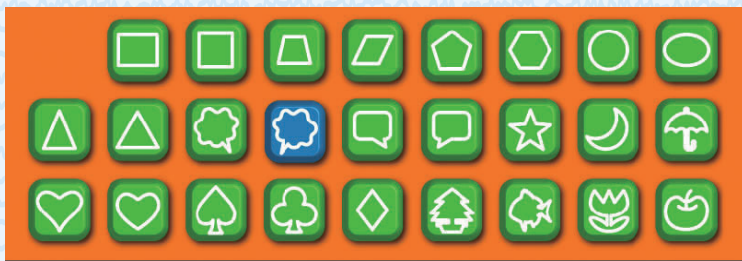


形を作ります。

【かたちをつくる】を選択します。

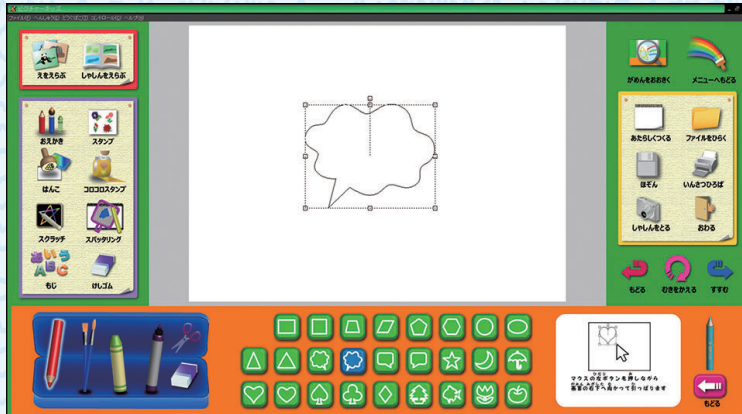


任意の形を選びます。

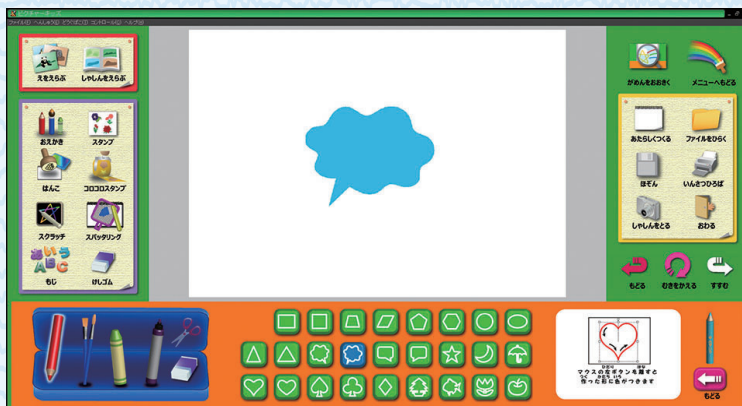


ピクチャーキッズ ソフトウェアマニュアル

左上を基点に、画用紙上をドラッグしながら大きさを決めます。



ボタンを離すと、選択した形を作ることができます。



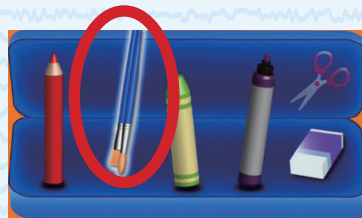
第2章「画材を使いこなそう」

3

絵の具で描いてみよう

- [絵の具 12色] から好きな色を混ぜて描画することができます。
- 本物の絵筆と同じ質感で絵を表現することができます。
- 3種類の太さから選択して線を描くことができます。

クリック



【絵の具】を選択します。

【筆箱】から【絵の具】を選択します。

色を選択します。(1色目)

1色目の絵の具を選んで、パレットに伸ばします。



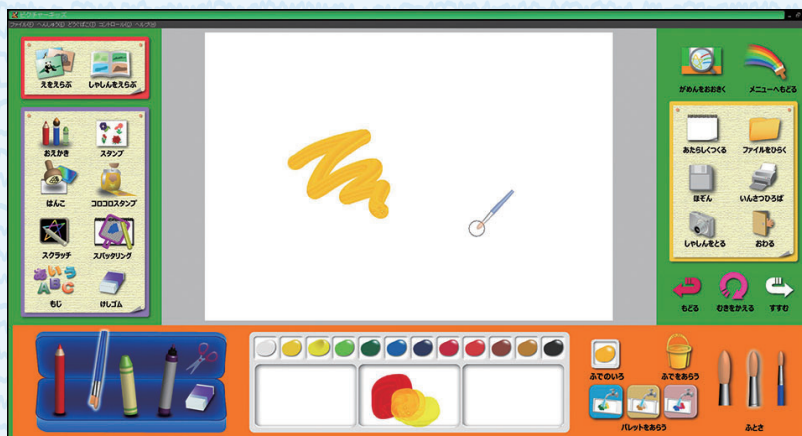
絵の具を選択します。(2色目以降)

2色目の絵の具を選んで、パレットに伸ばします。
1色目に触れるとその部分の色が混ざり始めます。



作った色で絵を描きます。

作った色で描画します。



【筆を洗う】について

[筆を洗う]には2種類の効果があります。

1. 筆の色を無くしパレットの色を拾うことができます。
2. 筆に色がついていない状態で描いた部分をドラッグすると、水を含ませたような「にじみ」の効果を表現することができます。



ふでをあらう

クリック



ドラッグ

きれいに混ぜる方法

- Point.1 パレットは広く使う
- Point.2 2色目の絵の具は、1色目に伸ばした絵の具のやや外側から混ぜる。
- Point.3 小さく円を描くように混ぜる。

第2章「画材を使いこなそう」

4

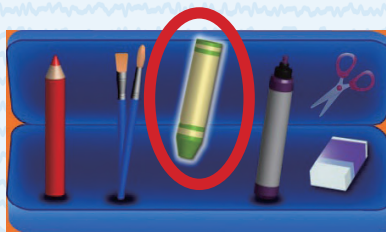
クレヨンで描いてみよう

- 学年などに合わせて[クレヨン12色]と[クレヨン24色]を選択することができます。
- 本物のクレヨンと同じ質感で絵を表現することができます。
- 3種類の太さから選択して線を描くことができます。

【クレヨン】を選択します。

【筆箱】から【クレヨン】を選択します。

クリック



色を選択します。

使いたい色のクレヨンを選択します。

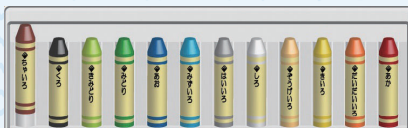
クリック



色数について

ピクチャーキッズでは【クレヨン12色】と【クレヨン24色】の2種類を搭載しています。

12色

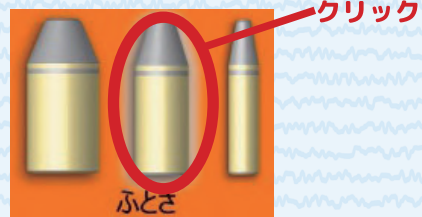


24色



クレヨンの太さを選択します。

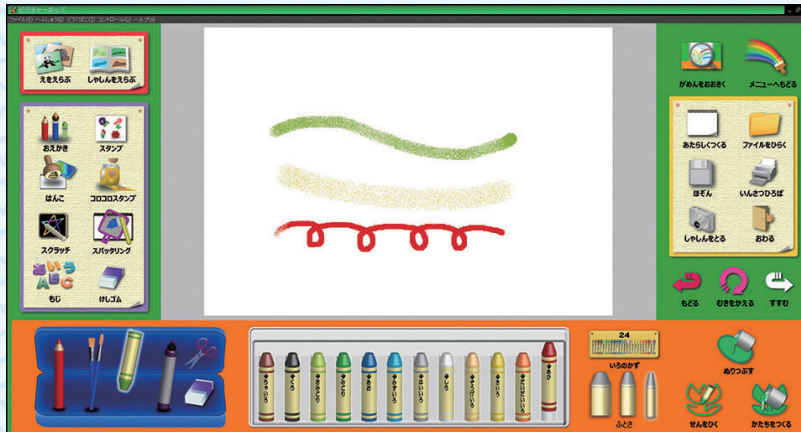
【太さ】から任意の太さを選択します。



初期設定では【中】の太さになっています。

線を描きます。

タッチパネル上に指又は専用のペンで描きます。
又は、画用紙にマウスポインタを合わせ、ドラッグします。
画用紙をドラッグするスピードによって質感が変わります。



第2章「画材を使いこなそう」

5

マジックで描いてみよう

- 学年などに合わせて[マジック12色]と[マジック24色]を選択することができます。
- 滑らかな直線や曲線を表現することができます。
- 3種類の太さから選択して線を描くことができます。

【マジック】を選択します。

【筆箱】から【マジック】を選択します。



色を選択します。

使いたい色のマジックを選択します。

クリック



色数について

ピクチャーキッズでは【マジック12色】と【マジック24色】の2種類を搭載しています。

12色

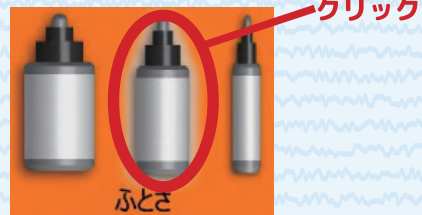


24色



マジックの太さを選択します。

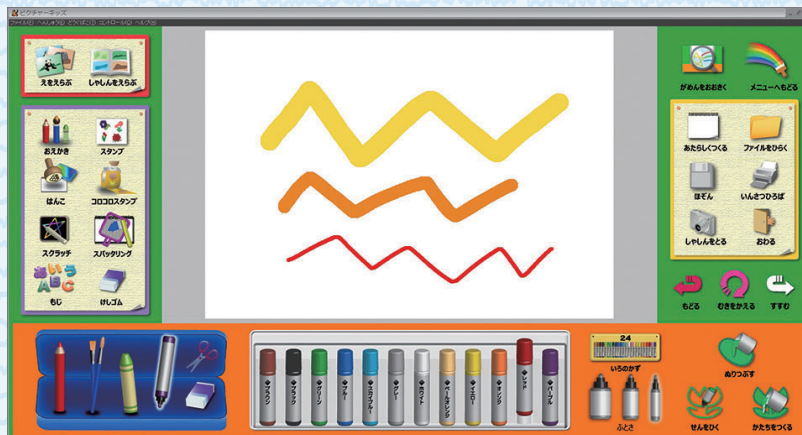
【太さ】から任意の太さを選択します。



初期設定では【中】の太さになっています。

線を描きます。

タッチパネル上に指又は専用のペンで描きます。
又は、画用紙にマウスポインタを合わせ、ドラッグします。



第2章「画材を使いこなそう」

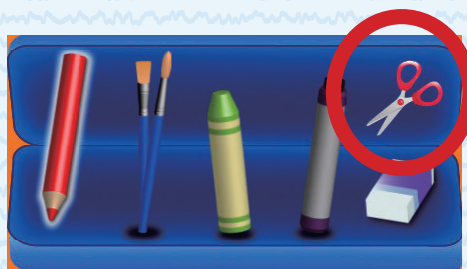
6 はさみの使い方

画像のトリミングについて

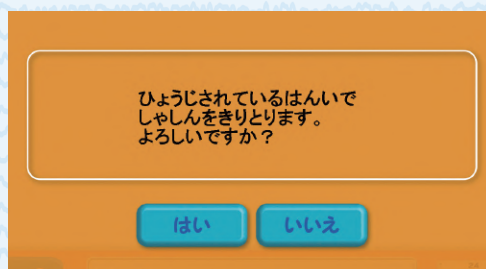
画像の不要な部分の切り取り(トリミング)を行うことができます。

クリック

任意の大きさにキャンバスを拡大※した後、
【お絵かき】の【筆箱】にあるハサミアイコン
を選択します。



選択すると切り取り確認のウィンドウが表示されます。
「はい」を選択すると表示されている範囲外の画像が切り取られます。
切り取りをした後で「戻る」を選択すると操作のやり直しをすることができます。



※キャンバスの拡大

マウス操作の場合…ホイールを前に転がす
マルチタッチ操作の場合…ピンチアウト操作

マルチタッチ操作について →P27「画用紙の拡大・縮小操作」をご覧ください。

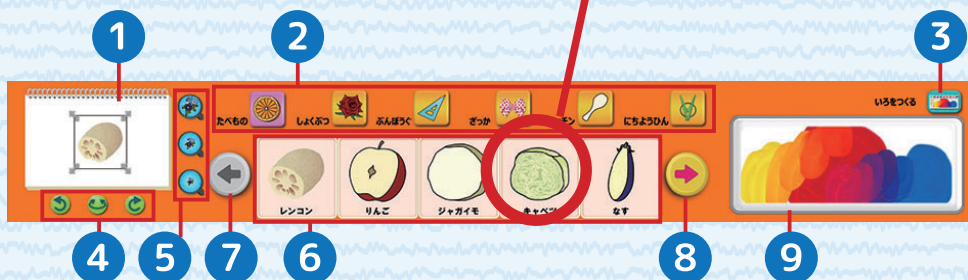
7 はんこを押してみよう

- 日用品に絵の具をつけて画用紙にはんこを押します。
- 押したはんこの質感は本物と同じです。
- 素材によって押せる回数が変わり、何度も押すと絵の具が薄くなっていきます。

【はんこ】を選択します。



クリック



① プレビュー	選択中の素材を確認できます。 また、ここで任意の大きさに変更することもできます。
② カテゴリー	素材の種類を変えることができます。
③ 色を作る	絵の具の色を作ることができます。
④ 角度	はんこ素材の角度や向きを変えることができます。
⑤ 大きさ	はんこ素材の大きさを3段階に変更することができます。
⑥ 素材	はんこ素材を選択できます。
⑦ 前へ	前の素材に戻ります。
⑧ 次へ	次の素材に進みます。
⑨ 絵の具	はんこ素材に付ける絵の具の色を選択します。

第2章「画材を使いこなそう」

素材を選択します。

【カテゴリー】ボタンで素材の種類を変えることができます。



素材に絵の具をつけます。

パレットにタッチ又はマウスポインタを合わせ使いたい色を選択します。



画用紙にはんこを押します。

画用紙にタッチ又はマウスポインタを合わせクリックします。
回数を重ねるごとにハンコの質感と濃さが変わります。



絵の具の色を自分で作る方法

1. 【色を作る】を選択します。
2. 【パレットをあらう】を選択します。
3. パレットで絵の具の色混ぜをします。
4. 【はんこを押す】を選択します。

※色混ぜの方法について →P38「絵の具で描いてみよう」をご覧ください。

はんこのいろをつくってね！
いろいろな いろを かさねたり まぜたりすると
はんこを おしたとき きれいにのせるよ！

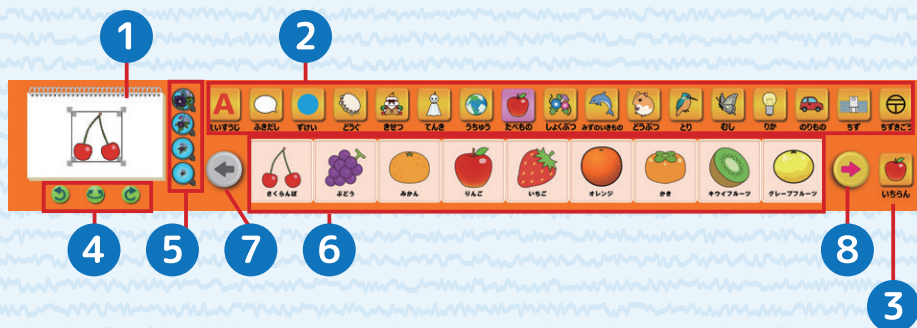


8

スタンプを押してみよう

- 背景イラストと組み合わせて、300種類以上のスタンプが使えます。
- ふきだしなどの素材を選んでまとめや発表に使う作品を作ることができます。

【スタンプ】を選択します。



1 プレビュー	選択中の素材を確認できます。 また、ここで任意の大きさに変えることもできます。
2 カテゴリー	素材の種類を変えることができます。
3 一覧	スタンプ素材を一覧で表示し、選択することができます。
4 角度	スタンプ素材の角度を変えることができます。
5 大きさ	スタンプ素材の大きさを 4 段階に変えることができます。
6 素材	スタンプ素材を選択できます。
7 前のページ	前の素材に戻ります。
8 次のページ	次の素材に進みます。

第2章「画材を使いこなそう」

【カテゴリー】ボタンを選択し、背景イラストに合ったスタンプ素材を選択します。

【カテゴリー】ボタンで素材の種類を変えることができます。

クリック



スタンプを押します。

任意の場所にタッチ又はマウスポインタを合わせ、クリックして押します。



スタンプの大きさについて

大きさの変え方には次の2種類の方法があります。

1. 【特大】【大】【中】【小】ボタンをクリックすると、スタンプの大きさが4段階に拡大縮小されます。
2. 素材プレビュー内にマウスポインタを合わせ、内側にドラッグを行うと素材が縮小されます。
外側にドラッグを行うと素材が拡大します。



特大
大
中
小

9

コロコロスタンプを押してみよう

● スタンプを押した状態から指をスライド(マウス操作ではドラッグ)すると、コロコロスタンプ感覚で模様を描写することができます。

【コロコロスタンプ】を選択します。



1 プレビュー	選択中の素材を確認できます。 また、ここで任意の大きさに変えることもできます。
2 カテゴリー	素材の種類を変えることができます。
3 サイズ	スタンプの素材の大きさを3段階に変えることができます。
4 素材	スタンプの素材を選択できます。
5 前のページ	前の素材に戻ります。
6 次のページ	次の素材に進みます。

第2章「画材を使いこなそう」

【カテゴリー】ボタンから任意の素材カテゴリーを選択します。

【カテゴリー】ボタンで素材の種類を変えることができます。

クリック



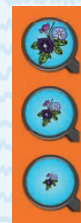
任意の場所にタッチ後、そのままスライドして押します。



コロコロスタンプの大きさの換え方

大きさの換え方には次の2種類の方法があります。

1. 【大】【中】【小】ボタンをクリックすると、コロコロスタンプの大きさが3段階に拡大縮小されます。
2. 素材プレビュー内にマウスポインタを合わせ、内側にドラッグを行うと素材が縮小されます。
外側にドラッグを行うと素材が拡大します。



大
中
小

コロコロスタンプの活用法

1. 画用紙の上でワンクリックするとコロコロスタンプの最初のイラストだけを押すことができます。
2. 画用紙の周りにスタンプを押すと[手作りスタンプフレーム]ができあがります。



10 スパッタリングをしてみよう

- 画用紙の上に型を置いて、絵の具を吹きつけます。
- 型をはずしたあとに残ったシルエットを楽しむことができます。

【スパッタリング】を選択します。



☆スパッタリングとは？

スパッタリングとは、絵の具をつけた歯ブラシを金網で擦り、絵の具を霧状に落とす技法です。キャンバス上に色々な形を置いて準備完了、お好みの色を吹きつけると、スパッタリング独特の味のある表現を得ることができます。



1 プレビュー	選択中の【型】を確認できます。 また、ここで任意の大きさに変えることもできます。
2 カテゴリー	素材の種類を変えることができます。
3 かたちをはずす	画用紙に置いた【型】を全てはずします。
4 色をふきつける	色を作るパレットを表示し、画用紙に色を吹きつけます。
5 角度	【型】の角度や向きを変えることができます。
6 大きさ	【型】の大きさを変えることができます。
7 素材	画用紙に置く【型】を選択できます。
8 前のページ	前の素材に戻ります。
9 次のページ	次の素材に進みます。

第2章「画材を使いこなそう」

【素材】から【型】を選択します。

画用紙に【型】を置きます。



【色をふきつける】を選択します。



パレットでスパッタリングに使用する絵の具を作ります。



※色混ぜの方法について →P38「絵の具で描いてみよう」をご覧ください。

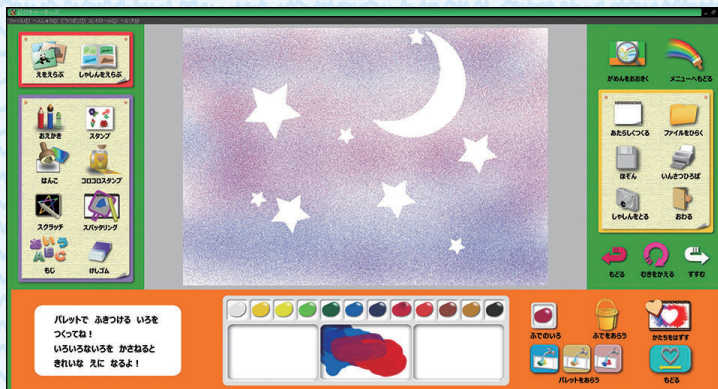
画用紙に作った絵の具を【型】の上から吹きつけます。

画用紙の上でドラッグ、または指でなぞることで、色を吹きつけることができます。



【型】を外して作品を確認します。

【かたちをはずす】を選択します。



複数の色を重ねて【色を吹きつける】ことで、より美しいグラデーションが作れます。

第2章「画材を使いこなそう」

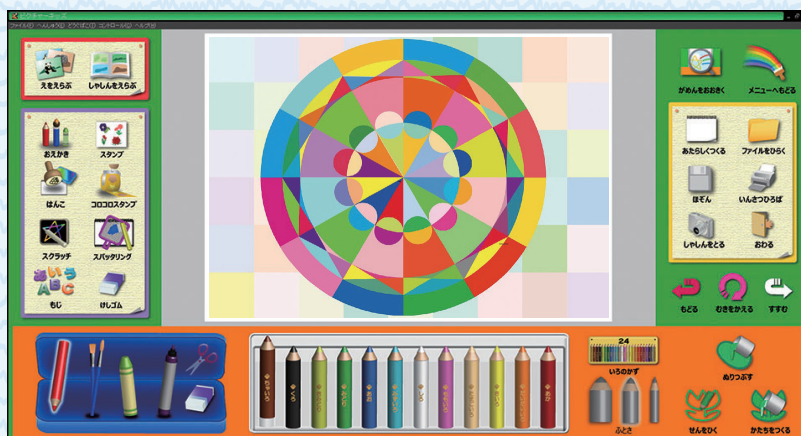
11

スクラッチで色を削って描いてみよう

- 画用紙にさまざまな色を使って描いた絵や写真を用意して、上に色を乗せて削って絵を描きます。
- 自分で描いた絵を背景にできるので、創作の幅が広がります。

背景にするイラストを作成または画像を開きます。

※背景素材(【えをえらぶ】→【イラスト】)からも選択することができます。

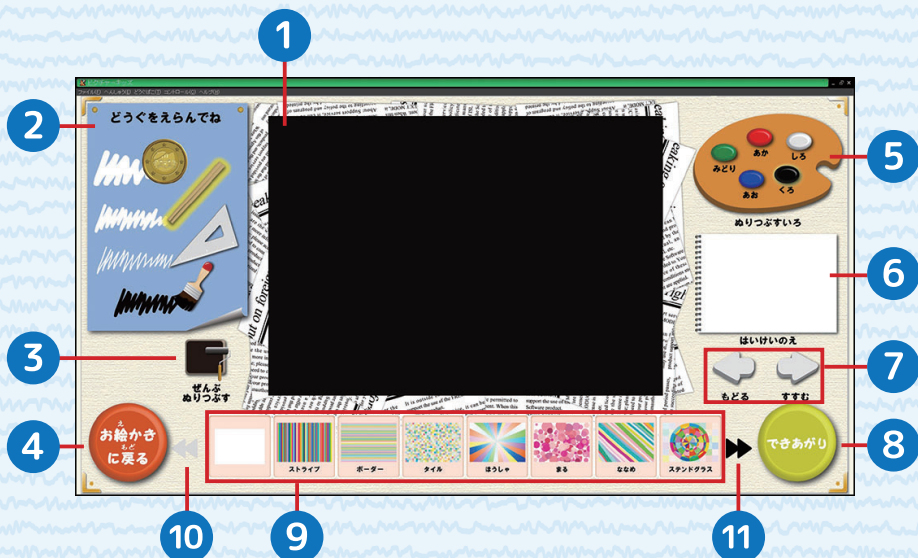


【スクラッチ】を選択します。



☆スクラッチとは？

スクラッチ（ひっかき）とは、あらかじめ下塗りした色の上に違う色を塗り重ね、その後、上の色を引っかいて削り取り、下の層の色を出す絵画技法のことです。ピクチャーキッズでは、指定した絵や写真を一色で塗りつぶし、引っかき道具を使って、任意の部分をのぞかせて作品作りができます。



① 画用紙	スクラッチをする領域です。
② 削る道具	削る道具を選択します。
③ 全部めりつぶす	選択している色で、画用紙を全てめりつぶします。
④ お絵かきに戻る	スクラッチをやめて、お絵かき画面に戻ります。 スクラッチで描いたものは消えてしまいます。
⑤ めりつぶす色	画用紙をめりつぶす色を選択します。
⑥ 背景の絵	背景の絵を選択します。
⑦ 戻る／進む	操作履歴を1つ前に戻します。(最大20履歴まで) ／操作履歴を1つ先に進めます。
⑧ できあがり	スクラッチで編集した内容を残したまま、お絵かき画面に戻ります。
⑨ 背景素材	背景素材を選択します。スクラッチの途中でも変更できます。
⑩ 前のページ	前の背景素材に戻ります。
⑪ 次のページ	次の背景素材に進みます。

第2章「画材を使いこなそう」

削る道具を選択します。

削る道具の種類と特徴

道具によって削る太さを変えることができます。
また、刷毛を使って削りすぎた部分を戻すことも出来ます。

【全部ぬりつぶす】を選択すると削ったすべての部分がなくなります。



道具の種類を変えながら削って絵を描きます。



12 作品に名前を入れよう～キーボード入力編～

- 完成した作品にキーボードを使って名前を入力します。
- キーボードで文字入力ができるのでローマ字入力の練習に活用できます。

【文字】を選択します。



【文字入力わく】にキーボードで文字を入力します。



【フォント】を選択します。

※ 初期設定のフォントは、【MS ゴシック】が設定されています。



第2章「画材を使いこなそう」

【文字の大きさ】を選択します。

※ 初期設定の文字の大きさは、【中】が設定されています。



【文字の向き】を選択します。

※ 初期設定の文字の向きは、【横向き】が設定されています。



【文字の色】を選択します。

※ 初期設定の文字の色は、【黒】が設定されています。



画用紙にタッチ又はクリックすることで準備した文字を押すことができます。



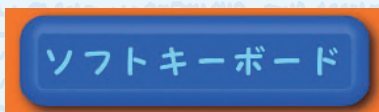
13 作品に名前を入れよう～ソフトキーボード入力編～

- 完成した作品にソフトキーボードを使って名前を入力します。
- クリックだけで文字が入力できるので、ローマ字を学習していない児童でも文字入力が可能です。

【文字】を選択します。

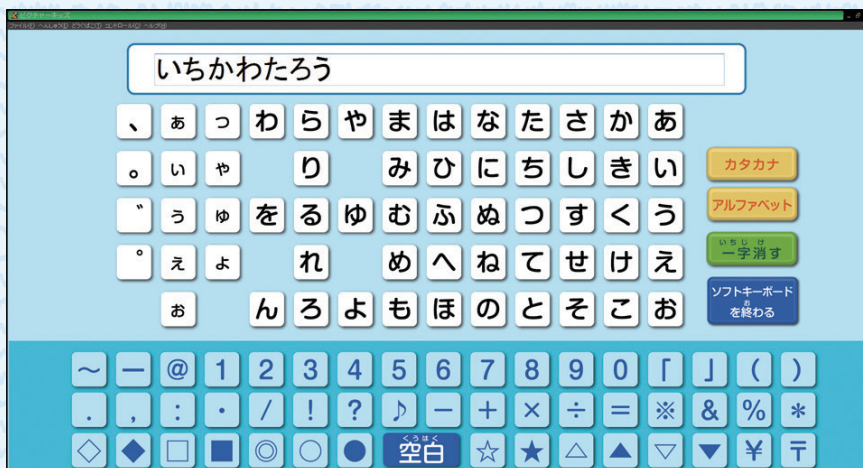


【ソフトキーボード】を選択します。



文字を入力します。

【文字キー】をクリックして名前を入力します。



第2章「画材を使いこなそう」

【フォント】【文字の大きさ】【文字の向き】【文字の色】を選択します。



詳しくは →P.57「作品に名前を入れよう～キーボード入力編～」をご覧ください。

画用紙にタッチ又はマウスポインタを合わせ、クリックすることで準備した文字を押すことができます。



ソフトキーボード画面の種類

3種類のソフトキーボードを切り替えることができます。



14 描いた絵を消そう

- 描いた絵を消しゴムで部分的に消すことができます。
- ボタン1つで背景イラストを残したまま、描いた絵を全て消すことができます。

【けしゴム】を選択します。

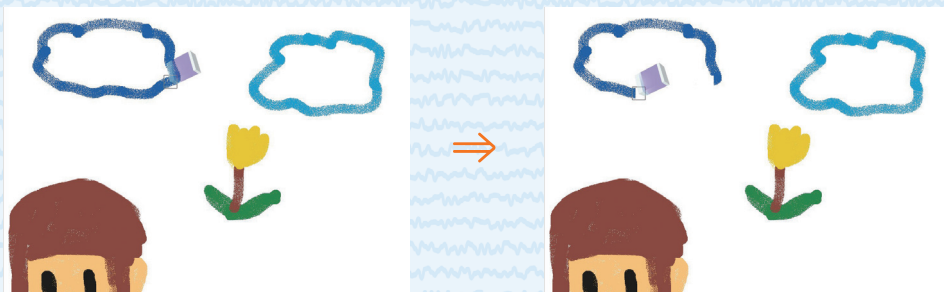


【けしゴムの大きさ】から消しゴムの種類を選択します。



第2章「画材を使いこなそう」

任意の場所にマウスポインタを合わせ、タッチ又はドラッグして消します。

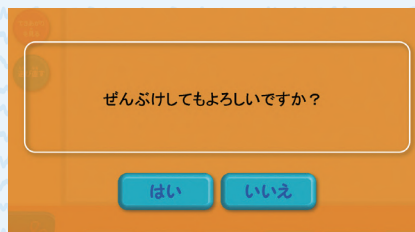


描いた絵やスタンプを全て消す方法

お絵かきで描いた絵や押したスタンプ・はんこなどを、すべて消す方法を説明します。

【ぜんぶけす】を選択します。

下記ウィンドウが表示されるので、
【はい】を選択すると消すことができます。



背景イラストの削除について

【けしゴム】では、描いた絵やスタンプが削除対象となるため、【絵を選ぶ】【写真を選ぶ】で選択した背景を消すことはできません。

背景のイラストや写真を消す場合は、【新しく作る】を選択して、新しい画用紙を用意してください。

第3章「教材として活用しよう」

1

作品の種類を確認しよう

ピクチャーキッズでは、目的に合わせて【作品】を選んで作ることができます。

目的別作品一覧

目的別作品は以下の項目になります。



テーマに応じたテンプレートを、【縦】【横】それぞれ8個ずつ用意してあります。
※それぞれの作品のテキストは、印刷後に手書きで記入してください。

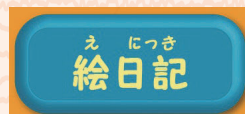
目的別作品の作り方は全て統一されています。このマニュアルでは、【絵日記】を例に説明します。その他の目的別作品は、作例を紹介します。

2

絵日記を作ろう

絵日記を作りながら目的別作品の操作方法を覚えましょう。

ピクチャーキッズを起動後、メニュー画面から【つくるもの】を選択します。



【絵日記】を選択します。

【テンプレート】を選択します。

任意のテンプレートを選択します。



【よこ／たて】ボタンを押すことで、たて型テンプレートとよこ型テンプレートを切り替えることができます。



写真や絵がはめ込まれている部分に描画することができます。
イメージに合ったテンプレートをお選びください。

第3章「教材として活用しよう」

お絵かきをします。

写真や絵を準備します。



【できあがりを見る】ボタンを押すことで、印刷イメージのプレビューを見ることができます。

【印刷】を選択します。



印刷設定を行います。



1 プリンター名	使いたいプリンターを選ぶことができます。
2 印刷設定	プリンターのプロパティが開きます。
3 保存	現在の作品を保存することができます。 (P21-「作品を保存しよう」と同じ操作方法です。)
4 印刷開始	印刷が開始されます。

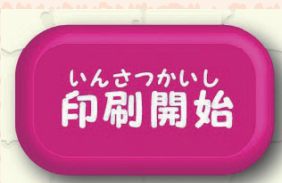
第3章「教材として活用しよう」

最初の行程で選択したテンプレートを、
選びなおすことができます。

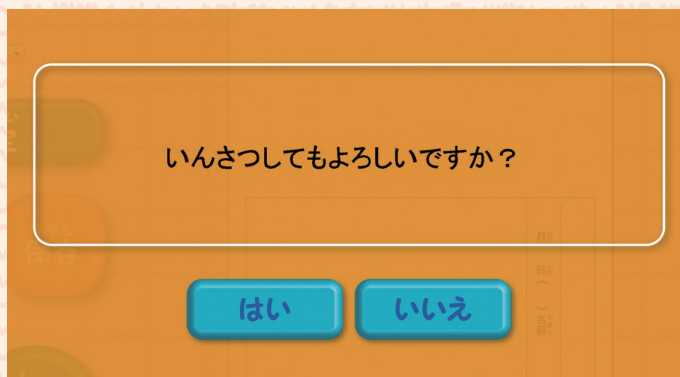


印刷を行います。

【印刷開始】ボタンを押します。



印刷の確認ダイアログが表示されるので【はい】を選択します。



印刷の進捗度が表示されるのでそのままお待ちください。

3

カレンダーを作ろう

【カレンダー】では、オリジナルのイラストや写真付きカレンダーを作ることができます。テンプレートには【1ヶ月】、【2ヶ月】、【3ヶ月】、【6ヶ月】、【12ヶ月】があり、様々な種類のカレンダーを作ることができます。

作品例



4

絵をさいころにしてみよう

【さいころ】では、描いた絵を立体的に貼り付け、ペーパークラフトの要領でさいころを作ることができます。また、印刷設定画面では、さいころの目を印字することもできます。

さいころの組み立て方は【作り方】ボタンを押します。

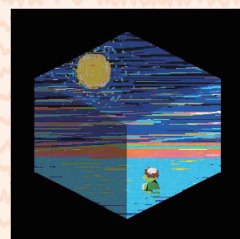
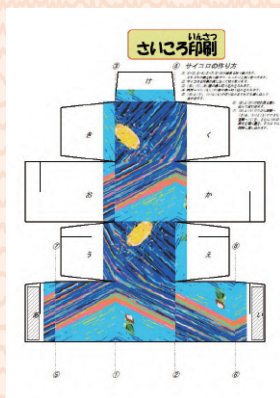


図解でわかりやすい説明画面が表示されます。



第3章「教材として活用しよう」

作品例



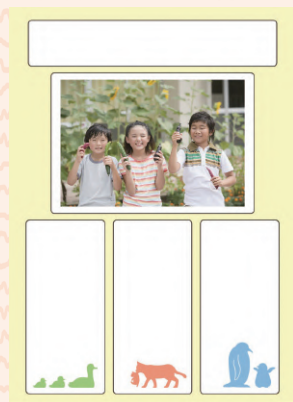
5

係やグループ紹介を作ろう

【係・グループ】では次のような作品を作ることができます。

かかり
係・グループ

作品例



6

自己紹介を作ろう

【自己紹介】では次のような作品を作ることができます。

じこしょうかい
自己紹介

作品例



じこしょうかい
自己紹介カード

	好きなもの・こと
	将来の夢
名前: 誕生日: 月 日 星座:	みんなにひとこと

7

めあてや目標を作ろう

【めあて・目標】では次のような作品を作ることができます。

もくひょう
めあて・目標

作品例



のめあて

	がくしゅう うんどう せいかつ
なまえ	

第3章「教材として活用しよう」

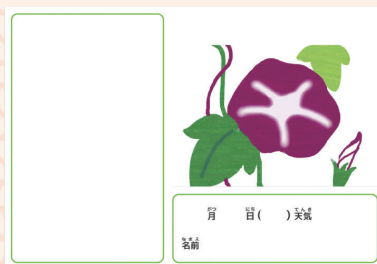
8

観察日記を作ろう

【観察日記】では次のような作品を作ることができます。

かん さつ に つ き
観察日記

作品例



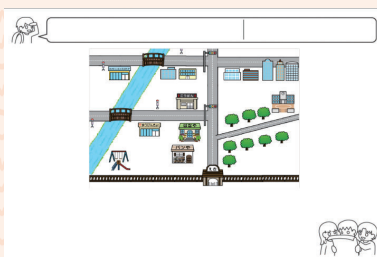
9

町探検をまとめよう

【町探検】では次のような作品を作ることができます。

まちたんけん
町探検

作品例



10

新聞を作ろう

【新聞】では次のような作品を作ることができます。



作品例

